



パンデミック（感染症の世界的大流行）によって県民の生活も一変。阿部知事はじめ県職員も2年に渡り懸命に対応して参りました。県議会では自民党県議団が最大会派としてリーダーシップを発揮。6月県議会においても29人の自民党県議が一丸となり、意欲あふれる一般質問、委員会質疑、現地調査、知事や政府等への要望活動を行いました。

継続的支援を要望

6月補正予算 約219億円を可決

〈6月補正予算概要〉

■医療提供体制の強化

- ## ①受入病床の拡充や感染症患者の重症化抑制に必要な設備整備支援

PCR検査の推進

- ①変異株対策のためのゲノム解析や感染拡大時の迅速な検査を実施するため、検査機器整備を支援

②陽性者が発生した事業所の従業員や、県が不要不急の往来を控えるよう呼びかけている都道府県で開催される大会への参加者が行うPCR検査費用を支援

■県内経済の下支え

- ①コロナ禍の影響で売上が減少した中小企業者等に応援金を支給するほか、感染防止策を徹底しつつ、事業の再構築や県産品の販路拡大等に取り組む事業者を支援
 - ②地域交通の維持・安全確保、国内定期航空便の運航継続を図るため、厳しい経営環境における交通事業者を支援
 - ③緊急事態宣言等の影響で厳しい経営環境に置かれている観光事業者を支援するため、宿泊事業者が行う前向きな投資への助成や県民向けの旅行代金割引等を実施

■困窮者への生活支援

- ①コロナ禍で生活に困窮する世帯への「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」の支給、孤立・孤独により不安を抱える女性への相談支援や生理用品の配布

■2050ゼロカーボンの取組

- ①「信州の屋根ソーラー」の普及を加速させるため、ゼロカーボン基金を拡充し、認定事業者による太陽光発電の普及啓発への支援や蓄電池等を導入する県民向けの補助制度を創設

■その他

- ①県立高校ICT環境整備事業
 - ②私立学校における学習用端末整備事業
 - ③信州まつもと空港利活用推進事業ほか

茅野市・富士見町・原村選出の丸茂岳人県議（一期）。自民党県議団のムードメーカーであり、若手のリーダー格として日々奮闘しています。

民間会社や市議会議員の時代に蓄えた知識や経験が豊富な丸茂議員。地元住民の声もしっかりと県に届けております。また近年多発している災害状況から、地元での今後の備えに対し以下のような質問をしておりました。今年3月に行われた建設委員会でもその様な場面がありましたが、そこでご紹介しましょう。（抜粋・要約）

水に対し築堤や河床掘削等の断面確保により対策を行う計画になつていて。ただ、堤外地を市道で利用していたり、用地買収や橋梁の架け替えが必要だつたりと、思うように河川改修が進んでいない。

今後県としては、地元の皆さんと協議すると共に、しゅんせつ等、今できることをしつかり進めていくことに加え、遊水地や水田貯留、雨水抑制などの流域治水の対策を講じ住民の安全に寄与したい。

果、上川があと50センチぐらいで決壊しそうなところもあったので、いつかは来るだろなという直感を覚えました。こうゆう状況から鑑みても災害対応に関する考え方を根本的に直す必要はあるだろう。

国もそういう状況を鑑み、だからこそ、3か年の国土強靭化緊急対策予算に続き、5か年の加速化対策予算が決定してゐるわけです。県には徹底した浚渫（泥上げ）を行つて頂いており、川も広くなり相当量の雨量に対応できるようになつてゐる

がんばれ！自民党県議
丸茂岳人

をした